

# 敷地内除染技術の適用性試験概要

2012年3月28日  
環境線量低減対策



東京電力

---

# 1. 概要

## 目的

- ・ 舗装道路（アスファルト）を対象とした除染機械の効果確認
- ・ 法面・草地の除染（表土剥ぎ）による効果確認ならびに雰囲気線量への影響確認
- ・ 施工性、廃棄物（撤去物・排水）等の物量・性状把握

## 実施概要

（場 所） 免震棟～物揚場ルートの一部エリア

（実施内容）

- ・ 舗装道路・・・除染機械による道路除染（路側は人力作業）
  - ①集じんシステム、②ドライアイスブラスト、③超高压洗浄
- ・ 法面、草地・・・草刈り・表土剥ぎ（一部直営作業）

## 工程

平成24年3月～平成24年5月

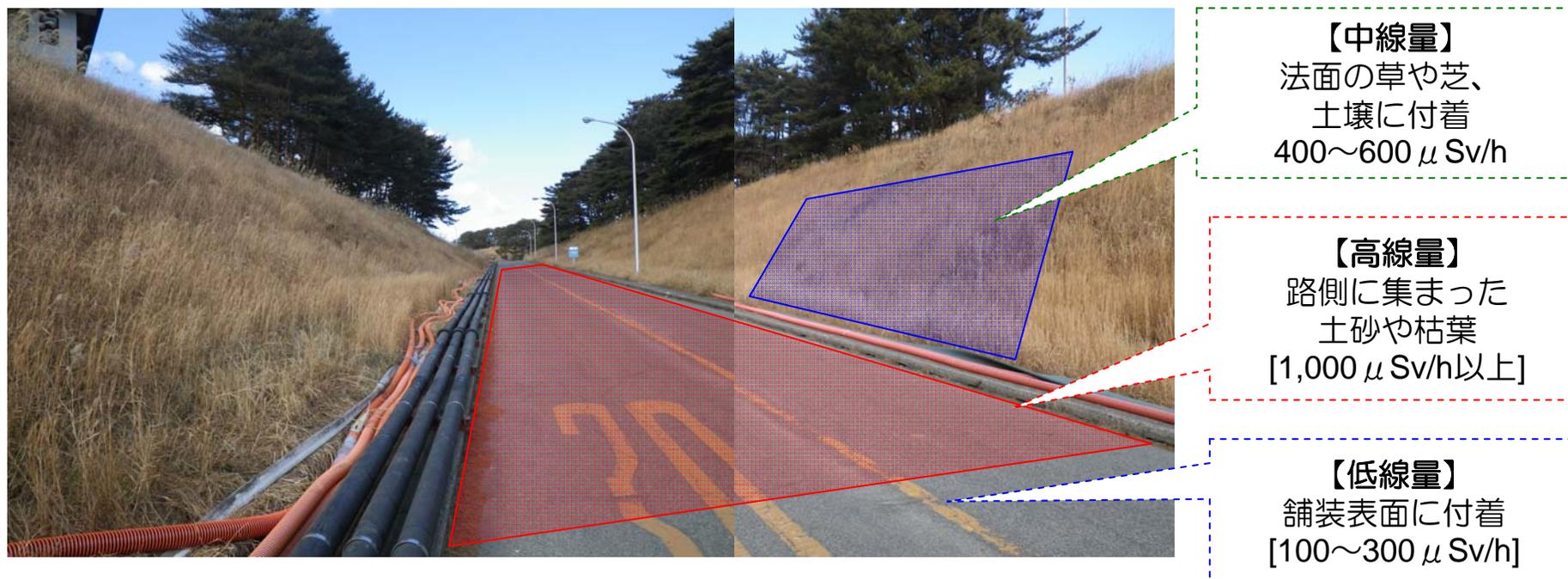
- 3月・・・試験計画の検討、発注
- 4月・・・実証試験の実施（現場作業）
- 5月・・・効果取り纏め・報告（社外関係機関と情報共有）

## 2. 実証試験内容（舗装道路）

- ✓国の除染事業（JAEA）の情報から、サイト内で活用している集じんシステムよりも除染効果が期待でき、サイト内へ導入可能な手法を選定

	集じんシステム	ドライアイスブラスト	超高压洗浄(排水回収)
試験内容		 <p>↑ 施工前</p>  <p>↓ 施工後</p>	
概要	<p>【舗装面凹凸のダストを回収】 ワイヤブラシで舗装面の凹凸に入り込んだ粉塵を掻き出し、集じん機で回収</p>	<p>【骨材間のダストを回収】 ドライアイスペレットを舗装面に噴射して、骨材の間に入り込んだ粉塵を吹き飛ばして回収</p>	<p>【舗装面表層を削り取り】 最大250MPaの超高压洗浄水を噴射し、舗装面表層を削り取り、除染水とともに回収</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免震棟駐車場と同程度の効果を期待（地表面の線量率 ▲60%程度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ドライアイスブラスト＋集じん機能」がついた装置により、集じんシステム以上の効果を期待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事業において、高い除染効果を確認（地表面の線量率 ▲80%程度[普通アスファルト]）</li> </ul>

### 3. 実証試験の実施方法



#### 【舗装道路】

- ・ エリア区分して、各々の除染効果を確認。
- ・ 除染機械で十分施工できない路側については、直営（人力）で除染実施

#### 【法 面】

- ・ 施工段階毎（草刈り・表土剥ぎ・法面保護）の除染効果を確認
- ・ 除染範囲を段階的に施行しながら除染効果を確認